

泥の感触「気持ちいい」 東京の児童ら 日南で田植え



児童発達支援事業などを手がけるトリプル・ハート(東京都中央区、中澤宏昌代表)が運営する施設に通所する児童・生徒6人が23日までの2日

間、日南市を訪れ、田植えや観光を楽しんだ。同社の施設管理者、中村嵩さん30が同市酒谷出身という縁で、地元

泥だらけになりながら田植えを楽しむ生徒ら

会長などが協力し実現した。都会で親しむ機会の少ない自然体験に取り組む企画の一環で、初日は坂元棚田で田植えを体験した。はだして水田に入った児童らは「冷たい」と言いながら大はしゃぎ。古澤会長から「一束ずつ等間隔に植えて」と説明を受ける。と、動きづらい泥の中、丁寧に植えていった。約30分で広さ約1畝の水田に苗を植え終えた。

中学2年の渡嘉敷明日香さん(13)は「泥の感触が気持ちよく楽しかった。緑に囲まれ景色もきれい」と感動した様子。古澤会長は「だんだんと手付きが良くなり上達している。自然の中で楽しんでもらえて良かった」と笑顔を見せた。この後、同市北郷町で釣りも体験。23日は鶴戸神宮やサンメッセ日南を観光した。

(武龍太郎)